

No.	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
3	Enjoy Lively Sports in Happy Utsunomiya ～参加型スポーツ総合サイトの提案～	帝京大学 スポーツ大好きチーム	
		Muhammad Azril Bin Zid	帝京大学 理工学部
		指導教員 氏 名	渡辺 博芳

【1. 提案の要旨】

宇都宮市内では、多くのスポーツ団体が活動し、多くのスポーツイベントがある。しかし、その情報は分散され、全体を把握することは難しい。提供される情報は限定的であり、情報量も少なく、検索、問い合わせも難しい。これを改善し、スポーツ情報の流通を活性化することで、スポーツをもっと身近なものにし、振興できると考えた。

そこで、私達は宇都宮市内の全てのスポーツ情報への入り口となる参加型スポーツ総合サイトを作成し、運営することを提案する。図 1 は市民と提案するサイトとの関わりを示している。スポーツは、行うだけでなく、見ても楽しむことができる。さらに、チームや応援している人達が 1 つの目標に向かって一体となることができる。スポーツが振興し、市民の参加意識が高まることで市民間の交流が増える。

また、提案するだけでなく、実際に宇都宮 SPORTS.NET を試作し、宇都宮マラソン大会での社会実験を行った。その結果からも、このようなスポーツ総合サイトの有用性が示された。

私たち帝京大学スポーツ大好きチームは、活気の溢れるスポーツを楽しむこと（Enjoy Lively Sports）ができ、その中での交流が宇都宮での生活を幸せにすること（Happy Utsunomiya）を、強く望んでいる。



図 1 市民とサイトとの関わり

【2. 提案の背景と現状分析】

宇都宮市内のスポーツ情報の現状に関して、宇都宮市役所スポーツ振興課とミーティングを行うとともに、各スポーツ協会、民間のスポーツクラブ、宇都宮市体育文化振興公社の方々との3回に渡る研究会に参加した。そこから見えてきた現状を以下にまとめる。

ー2.1 宇都宮市内のスポーツ情報の現状ー

● 限定的な情報提供と情報量の不足

市の公式ホームページでは、体育協会加盟団体のスポーツイベント予定表やお勧めスポーツ情報、市スポーツ施設情報などが掲載されている。また、広報うつのみや(月1回1日発行)では市主催のスポーツイベント情報や市スポーツ施設の利用方法が掲載されている。

しかし、これらの情報はすべてのスポーツを網羅するものではないので限定的になりがちであり、また発信されている情報も、概要的な情報で詳細不明という場合が多く(別紙参照など)、情報量の不足といった問題が発生している。

● 選別できない情報提供の形

市への問い合わせ(電話、Eメール)では、「説明可能なものはその場で回答する。スポーツサークル・指導者の紹介は、該当競技団体への問い合わせを依頼する」などの対応が取られているのが現状である。この現状から以下のような問題点が見えてくる。

- ・ 情報発信が定期的であるために情報変化に弱く、情報の即時提供・更新ができていない
- ・ 情報の検索ができないため、利用者が選別できない情報提供となっており、素早く情報を得られない

● 情報の分散

自治体からの広報紙やホームページによる情報提供では、自治体内のスポーツ施設の紹介、体力づくりの手引きなど、スポーツに関する幅広い情報が掲載されているが、これは子供から高齢者までの幅広い年齢や、妊婦・障害者などを考慮した総合的なものではなく、またその情報の管理は各施設、各協会などで分散している。そのために、利用者が情報を入手するまでに時間がかかったり、情報を見つけられないという問題が発生している。つまり、現状では図2のように宇都宮市内のスポーツ情報が分散された状態になっており、これを図3のように集約化された状態にする必要がある。

● 脆弱な情報発信力と一過性の情報提供

民間情報サイトや新聞社サイトによる情報提供では、掲載件数が少なく、観戦を目的とした「見るスポーツ情報」であり、市民が参加できるような「するスポーツ情報」でないことが多い。この理由として、スポーツ団体が情報提供手段を持っていないことが多く、情報発信力が脆弱であることが考えられる。また、情報自体も一過性の情報提供であり、開催情報にとどまり、大会結果の情報提供にまで至らないことが多い。

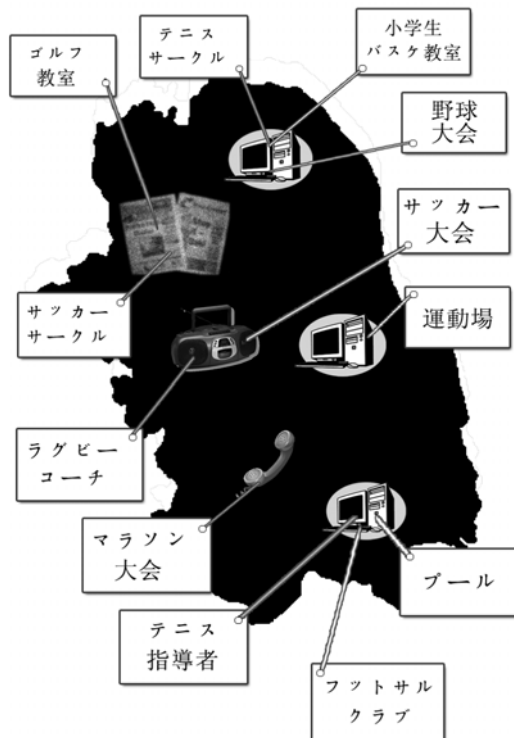


図 2 市内の現状



図 3 提案の効果

ー2.2 全国的なスポーツ情報サイトの動向ー

県や市のレベルでスポーツ情報サイトを運営している先進事例も存在する。例えば、富山県や横浜市では次のようなサイトが展開されている。

- とやまスポーツ情報ネットワーク <http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/>

富山県：(財)富山県健康スポーツ財団富山県総合体育センター運営

このサイトでは、教室・イベント、指導者、施設、サークル等が検索できる。また、スポーツ情報をピックアップし、トピックスという形で情報を更新している。これらの情報は運営者が掲載している。一般ユーザはウェブ上の典型的な掲示板と同じような掲示板に情報を書き込むことができる。

- ハマスポどっとコム <http://www.hamaspo.com/index.htm>

横浜市：(財)横浜市体育協会運営

このサイトにおいても、教室・イベント、施設、サークル、大会結果等が検索できる。このサイトの特徴は、「ヨコハマを愛し、スポーツを愛するすべての人が読者であり、スポーツ記者だ！」をキャッチフレーズとして、一般ユーザがスポーツ記事を投稿すると、管理者がチェックをした後に掲載される点、SNS と連動していて、そのなかで市民間の交流ができる点にある。

宇都宮にも、このような地域スポーツ総合サイトが必要であると考えられる。

【3. 提案の目標】

本提案は、スポーツを振興し、さらには宇都宮での生活を幸せにすることが目標である。そのために、2.1で述べた問題点を改善する必要がある。そこで、スポーツ情報取得における市民の利便性の向上、宇都宮市のスポーツ情報に関するサービスの向上と効率化、スポーツ団体の活性化を具体的な目標とする。

- **スポーツ情報取得における市民の利便性の向上**

各種スポーツ情報を1つのサイトに集約して掲載、総合化することにより、市民の情報入手(検索・閲覧)に要する時間を軽減させる。また、宇都宮市において別途構築中の施設予約システムへの接続により、手軽に施設を利用できるようにする。

- **宇都宮市におけるスポーツ情報に関するサービスの向上と効率化**

インターネットや携帯電話を利用してスポーツ情報を常時提供するとともに、電話等での問い合わせに対してその場で情報検索し、説明・紹介をスピーディにすることにより、行政サービスの質的向上を図る。また、職員の事務の省力化にもつながる。

- **スポーツ団体の活性化**

インターネットや携帯電話により、大会・イベント等の情報をPRする機会をスポーツ団体に提供することにより、大会等への参加者・支援者の増加や競技人口の拡大につながる。また、さまざまなスポーツ団体及び関係団体の情報を同一サイトに掲載することにより、他団体の活動内容などを知る機会を提供するとともに、団体間の交流(共有開催・協力支援等)や新しい取り組みを促進させる。



図 4 参加型のイメージ

【4. 施策事業の提案】

ー4.1 参加型スポーツ総合サイトによるスポーツ振興ー

宇都宮市域内のスポーツ情報を総合的に網羅し、さまざまなスポーツ関係者の参加と利用が可能な情報発信の場として参加型スポーツ総合サイトを作り、運営することを提案する。このサイトの条件は以下の通りである。

- **総合的に情報を網羅するポータルサイトであること**

Wikipedia によれば、「元々ポータルとは、港(port)から派生した言葉で、門や入口を表し、特に豪華な堂々とした門に使われた言葉」であることから、情報にアクセスする際の入り口となる総合的なサイトをポータルサイトと呼ぶ。提案するサイトは、宇都宮市のスポーツ情報の全てにアクセスするための総合的なポータルサイトである。

- **参加型のサイトとし、一般市民が情報を掲載し、更新できること**

参加型サイトでは、市民が主体となる。通常の情報サイトの場合は、情報を入手するだけであり、市民が主体となることはないが、市民が主体となることで、サイト内での利用者同士の交流や、市民からの情報発信が可能となり、スポーツ活性化につながる。

- **掲載される情報はバラバラでなく、有機的に結びついていること**

イベント情報ならイベント情報、スポーツ施設情報ならスポーツ施設情報などのように独立に存在するのではなく、イベント情報から大会結果を見たり、スポーツ施設情報から予約システムを利用したりできるよう、有機的に結びついていること。

- **携帯電話から簡易版でもパソコンと同等の機能を利用できること**

パソコンを利用する場合、イベント終了後に自宅からの更新ということになる。携帯電話からアクセスできれば、イベント終了直後に更新することができる。また、携帯電話の普及率が高いことから、携帯電話からアクセスできることは重要である。

このようなサイトは公的な性格を持つことが望ましい。しかし、市役所など地方自治体の運営ではいろいろな制約があり、柔軟な運営が困難であると思われる。事実、富山県や横浜市の例も財団法人が運営している。よって運営母体は、市役所ではなく、第三セクターなどある程度公的な団体とすることを提案する。

ー4.2 参加型スポーツ総合サイトが持つべき機能ー

(1) ポータルサイトとしてのサイト構成

スポーツ情報を総合的に網羅したポータルサイトとするために、サイトの構成は以下のようにすべきである。

- **トップページ**

注目情報や、更新情報が見やすく表示されている必要がある。

- **登録ページ**

スポーツ施設や、スポーツ指導者、スポーツサークルを参加者自ら登録することができるページ。

- **検索ページ**

登録された情報を、項目ごとや、キーワードなどによって検索することができるページ。

- プロスポーツページ
栃木県のプロスポーツチームの情報を掲示するページ
- 大会結果ページ
参加者自らが参加したスポーツイベントや、大会の記録や経過、コメントを残すことができるページ。
- 特集ページ
スポーツをこれから始めようという方や、初心者のための入門者向けページ。ここでは、宇都宮市内でのスポーツができるオススメスポットなどを紹介する。
- リンク集ページ
各協会や、大会へのリンクをまとめておく。

(2) 参加型ウェブサイトのための機能

● ユーザ管理

参加型のウェブサイトとはいえ、掲載される情報の品質は高めなければならない。そのために、情報を書き込みたい人には、ユーザ登録を行って ID を取得してもらう必要がある。これは、信頼できる情報を提供するサイトであるために必要なことである。ユーザ登録に必要な項目として氏名、住所、電話番号などがあげられる。

また、全てのユーザが全ての項目に書き込み可能にするのではなく、ユーザごとにアクセス権を設定し、運営者が他のユーザに適切な権限を与えることが可能である体制を提案する。例えば、スポーツ大会の主催者に自分が管理する大会情報のアクセス権限を指定した一般ユーザに与えることができるようにすれば、権限をもらった一般ユーザがその大会結果を書き込むことができるようになる。また、権限を得た主催者の ID からは、オフィシャル情報の発信、不適切な情報の修正などが行うことができるようにする。

● 掲載内容の管理

大会結果の入力には、各個人でコメントを残せる機能を搭載する。このことから、誹謗・中傷といった問題や、不快な内容のコメントが書きこまれてしまう可能性がある。これらに対応する必要がある。

その対策として、例えば、クレームボタンを搭載することが考えられる。不快なコメントを選択し、クレームボタンを押すことで、一時的にそのコメントは非表示とされる。その後、運営者の目で確認し、不適切であるかどうかを判断する流れが望ましい。また、不快なコメントを残したユーザには、警告メッセージを送る。

(3) 有機的に結びつけるためのデータ管理

単なる HTML のウェブページではなく、データベースと連携し、HTML ページを動的に生成して提示するシステムとする。データから加工して様々な情報を提供することで、様々な情報を有機的に結びつけることができる。

【5. 試作したサイト “宇都宮 SPORTS.NET”】

ー5.1 宇都宮 SPORTS.NET の概要ー

4 章で提案した参加型スポーツ総合サイトを具体化するために、宇都宮 SPORTS.NET と呼ぶサイトを試作した。教室・イベント、指導者、施設、サークル等の検索については、富山県や横浜市等におけるサイトでイメージをつかむことができるので、私たちは大会結果入力と表示の 2 点に絞って作成した。また、社会実験をスムーズに進めるためにユーザ登録は行わず、すぐに結果入力ができるような体制をとった。そのため、コメントなどを残すことはできないようにした。

サーバの OS は Windows Server 2003 とし、ウェブサーバに Microsoft Internet Information Services、データベースに SQL サーバ、開発環境として Microsoft .NET Framework を用いた。パソコン版だけでなく携帯版も作成した。それぞれの URL は以下の通りである。

URL	パソコン版	http://sportsdotnet.ics.teikyo-u.ac.jp/index.aspx
	携帯版	http://sportsdotnet.ics.teikyo-u.ac.jp/marathon_mobile.aspx

ー5.2 宇都宮 SPORTS.NET の動作画面例ー

宇都宮 SPORTS.NET のパソコン版の画面例を図 5 に示す。これはトップページの例である。また、携帯版の画面例を図 6 に示す。左から大会結果の入力画面、登録者の一覧画面、成績の閲覧画面の例である。



図 5 宇都宮 SPORTS.NET パソコン用トップページ



図 6 携帯版サイトの動作例

【6. 宇都宮マラソン大会における社会実験】

ー6.1 宇都宮マラソン大会の概要と実験方法ー

平成 20 年 11 月 16 日(日)に行われた宇都宮マラソン大会において、試作した宇都宮 SPORTS.NET を使用した社会実験を行った。宇都宮マラソン大会は今年で 22 回目を迎え、宇都宮市内だけでなく、市外からも多くの参加者を集める大きなイベントとして知られている。清原中央公園を中心に清原工業団地周辺を舞台とし、19 ものクラスに分けられている。当日はあいにくの雨模様であったが、参加者人数は 4,000 人を超えたようだ。

実験方法としては、宇都宮 SPORTS.NET の概要を説明した上で、参加者にマラソンの記録とアンケートの回答を宇都宮 SPORTS.NET の携帯版サイトからの入力、もしくは用意した記録用紙への記入によりお願いした。内容は以下の通りである。

大会記録 : 氏名 (ニックネーム可)・タイム・順位・参加クラス

アンケート : 1. SPORTS.NET のようなサイトがあると良いと思いますか？
2. 今回のシステムは使いやすいと思いますか？

当日のマラソン大会の様子を図 7 に、また、走り終えた方へのアンケートの様子を図 8 に示す。



図 7 マラソン大会の様子



図 8 社会実験の様子

ー6.2 実験結果ー

社会実験の結果、71 名の方に結果入力とアンケートにご協力いただきました。アンケート結果を以下の図 9 と図 10 に示す。

SPORTS.NETのようなサイトがあると良いと思いますか？

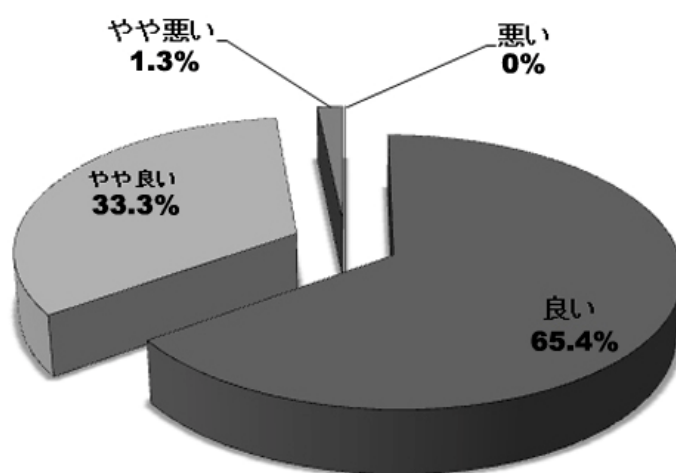


図 9 「アンケート 1: SPORTS.NET のようなサイトがあると良いと思いますか？」の結果

今回のシステム使いやすいと思いますか？

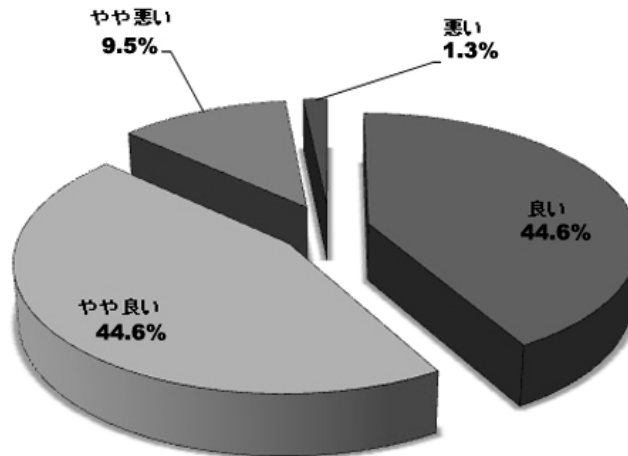


図 10 「アンケート 2：今回のシステムは使いやすいと思いますか？」の結果

－6.3 考察－

アンケート 1 の結果から、多くの人にウェブサイトの必要性を感じていただけたことがわかる。

アンケート 2 では、「やや良い」の評価を多く頂くことができた。入力・表示方法など、まだまだ改善点は多くある。「面倒くさい」といわれたこともあったので、その点は大きな改善点として考えていく必要があると感じている。

その他でも、「是非見たくなるようなサイトです」、「その人の昔の記録と比べられていい」などと言った感想を残していただいた。今後の展望について聞かれたこともあり、関心の深さもうかがうことができた。また、パソコン・携帯が苦手と言った意見が少数ではあったが聞こえてきた。苦手な方にも、使いやすく、分かりやすいウェブサイトであるべき必要があることを感じた。

【7. まとめ】

宇都宮市のスポーツ振興のため、参加型スポーツ総合サイトの作成と運営を提案した。提案に基づいて試作した宇都宮 SPORTS.NET は、試作段階にも関わらず、多くの市民に必要性を感じていただけたことから、このようなサイトは必要だと、強く訴えたい。

【謝辞】

今回の提案において、多くの方々にご協力いただきました。緒方様はじめ宇都宮市役所スポーツ振興課の方々、スポーツ情報システム研究会メンバー、澁谷様、濱野様、浜崎様、宇賀神様、岡様、萩原様、田中様、柳岡様、社会実験に協力してくれた Loo Choon Seng 君、Chong Foo Koon 君、古屋友彦君、マラソン大会でアンケートに協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。